

授業づくりとタネとネタ ～教師としての哲学をもちたい～

1. タネ・・・子どもから出発 ネタ・・・教材から出発

- ・研究授業にあたった時、まずどちらが浮かぶか？ 「あの子」 or 「教材」

2. 長岡・有田論争

- ・長岡文雄・・・奈良女子大附属小 兵庫教育大学附属小、兵教大教授、仏教大教授
(主な著書) 考え合う授業、合科学習の開拓、この子の拓く学習法、授業を磨く・・・
- ・有田和正・・・筑波大附属小、愛知教育大教授、教材・授業開発研究所代表
(主な著書) 学級づくりと社会科授業の改造、授業力の開発、授業のネタ、教え上手・・・
→実はこの2人は元は師弟関係。長岡の授業に有田が感動する。しかしその後・・・
長岡「子どもにとって切実である」vs 有田「教師にとって切実である」
長岡「この子」が切り口vs 有田「このネタ」が切り口
長岡「反TOSS派」vs 有田「TOSS派」 ※TOSS 法則化教育
長岡・有田・・・「追究の鬼」を育てる

★林竹二・・・楽しさとは、授業への積極的な参加、さらに教師から与えられたというよりも、自分で自分に課した容易でない課題を解く努力、その努力の中に友達や先生も一緒に参加してそれをやった、そしてついに糸を解いたという経験。これが子どもにとって楽しいということの最も本質的な内容ではないかと思う。

★上田薫・・・授業の3方策 ①迷わせ、わからなくしてやること ②教えないこと、少なくしか教えないこと ③教科の枠に縛られぬこと、授業時間にこだわらぬこと、授業はきっかけを与えるだけにあること

★土谷正規・・・子どもの躍動を望むなら教えないこと。教師の指示教示で出来たと喜んでいる子どもの姿は躍動ではない。指導の半分は待つこと、あとの半分は子どもの中に飛び込むことである。

3. あなたは長岡派？有田派？ どちらかではなく、どちらも勉強することが重要

- ・ネタ本から、やりやすいネタを授業にしてみる（ネタ授業） TOSS的追試
- ・ネタに頼らず、子どもから出発する授業をやってみる（タネ授業）
- ・「この子」を生かすネタを自分でつくって授業をつくっていく（タネネタ授業）

4. 「8秒間走」と「15m走」 短距離走の授業 （ネタ？タネ？）

- ・「8秒間走」は山本貞美（広島大附属小）の有名な授業。 全国の教師が真似た
- ・「あの子」を生かすためにつくった「15m走」は、仲島のオリジナル

5. 教師としての哲学をもちたい

- ・ハウツー方式を勉強するだけでは哲学は生まれない。一生、勉強していく教師に！